

自ら学び自ら考え

卒業レポート

1969年（昭和44年）から卒業レポートに取り組んで52年、高島高校には半世紀も前から探究的学びを取り入れてきた歴史があります。その歴史に加えて、昨年度からはレポートを論述した上にポスターやパワーポイントを使った発表にも取り組んでいます。問いを立て、仮説を立てて検証するという探究的学習を通して、自分自身を見つめたり友人と協働的に学びを深めたりしています。



大阪大学石黒浩教授（1982年卒）の卒業レポート

アンドロイド研究の世界的研究者の石黒先生は、高校時代美術部に所属し活躍されました。卒業レポートでは、“静物のもつ無限の美への追求”について記されています。その一部を紹介します。

要旨

百合・紫陽花をモチーフに、静物の持つ無限の美を追求するとともに、油絵を始めてからの三年間をふりかえる。

本文より

「石ころを見て長い地球の歴史を思うように、静物を見て感じるものは、人物や風景を見て感じるものより、はるかに神聖で、それはかつ無限である。私が静物を描く理由は、その中に無限の可能性が、無限の美が秘められているからであり、その無限の美を追求してみたい欲求に駆られるからである。」

卒業生の言葉

八軒悠一郎



金沢大学人間社会学域法学類
高島中学校出身

私は法哲学に興味があったので、死刑制度をテーマに卒業レポートの探究活動を行いました。文献調査を中心に探究活動をする中で、最初は無駄に感じた文献が最終的に論文に仕上げていく中で役に立ったことがあり、幅広い情報を収集する必要性を感じました。多くの文献を調査するには早い段階から計画的に進めることが重要です。この探究活動を通して培った計画する力は受験勉強でも役立ったように感じています。エビングハウスの忘却曲線を自分なりに解釈し、7回暗記や演習を繰り返せばほぼ100%理解できたことになるので問題集等を7回解くことを実行しました。また、受験勉強として友人と問題を出し合う時間は大変有意義でした。相手が絶対に答えられない問題を作問しようと挑戦する時間はとてもワクワクしました。

読書活動

読書活動に積極的に取り組んでいます。

○朝の10分間読書

春と秋の読書週間では、朝の10分間読書に取り組みます。自分の選んだ本、好きな本を読むことで自発的な読書活動の充実を図り、読書習慣を身に付ける機会になっています。

○校内読書感想文コンクール

毎年夏休み明けに校内読書感想文コンクールを実施し、自分の思いや考えを言葉で表現する力を育てています。校外のコンクールにも毎年複数名が入選するなど、活躍しています。

○ビブリオバトル

自分が読んでほしい本をプレゼンテーションする力を競うビブリオバトル大会に毎年参加しています。高島高校生が2年連続して県大会で優勝し、全国大会でも活躍しました。



学力向上に挑む

英語探究活動

将来英語を使って活躍できることを目標におき英語の発音練習からはじめ、暗唱やスピーチ、ディベートなどの活動をしています。大会にも出場し、全国高校生英語ディベート大会で3位入賞や朝日大学高等学校英語弁論大会で優勝するなど英語の実力を大きく伸ばしている生徒もいます。

英語ディベートでは論理的思考力が鍛えられるため、京都大学や大阪大学などの難関大学に合格した先輩は大学入試に大いに役立ったと語っています。



東京大学の金曜特別講座



東京大学の先生方が全国の参加高校に向けてWeb配信している「高校生と大学生のための金曜特別講義」を本校生徒も受講できます。高度で専門的研究事項を高校生に分かりやすく解説してもらえ、授業です。

全国各地の高校生と一緒に受講でき、質疑応答も共有できるので、多様な考え方に触れて視野を広げることができます。

自学支援プログラム HOP STEP

JUMPにつなげる

長期休業中などに「自ら学ぶ」スタイルを確立するためのプログラムです。自分のペースで家庭学習を進め、学校でスモールステップのチェックテストを受けます。「HOP STEP」で学習する姿勢や基本的学力をしっかり身につけ、それらを活用して大きく「JUMP」してほしいと願っています。



自習教室・質問コーナー

自学自習を徹底サポート

自習室は2部屋24席ずつあり、すべてパーティションで区切られているので、一人でじっくりと落ち着いた空間で勉強に集中できます。また、質問コーナーが職員室のすぐそばに設置してあるので、わからないことが出てきたらすぐ先生に聞いて、その場でスッキリ問題解決できます！



文武一体で未来を拓く

運動部

学習と部活動を両立させることで、確かな学力、豊かな心、健やかな身体をバランスよく育み、生きる力を育てます。

野球
陸上競技
スキー
柔道
卓球
バレーボール
剣道
ソフトテニス
サッカー
バドミントン
ボート

(令和4年度募集予定部活動)



みんなが一つになる さいきょうさい 瀧郷祭



(※瀧郷祭=学園祭)
高島高校では、体育祭と文化祭をあわせて「瀧郷祭」と名づけています。

部活動は自己成長の場

文化 部

演劇 書道 美術 探究
茶華道 JRC 写真 吹奏楽

卒業生の言葉 松田 拓磨



京都教育大学美術領域専攻
湖西中学校出身

私は部活動を通して「努力することの大切さ」を学びました。高校で初めてポート部に入ったので、初めは落水してばかりいました。しかし、なぜうまくいかないのかを考えて、自分なりに練習方法を工夫するうちに少しずつできるようになり、最後には納得できる成績も残せました。この経験は、勉強でも非常に役に立ちました。どんなに練習が厳しくても宿題や予習は欠かさず取り組みました。授業中の集中度を高めたりテスト前の勉強時間を増やしたりなど工夫して努力したことは確かに報われたと感じています。落ち着いた環境で勉強に集中できたことと部活動などでいろんな人と関わり刺激を受けられたことが、高島高校を選んでよかったと思うことです。

仲間とともに創造する喜び

